筑前町　学校教育推進Ｒ６

志をもって意欲的に学び、自律心と思いやりの心をもつ、たくましい子どもの育成

1 地域とともにある学校づくりの推進

2 確かな学力を育み、個性や能力を伸ばす学校教育の充実

3 心づくり・体づくりの推進

4 いじめ・不登校等に対する生徒指導体制の確立

5 特別支援教育の充実

6 人権教育の推進

7 教職員の資質向上と人材育成

8 教育環境の整備

筑前町教育委員会

1　地域とともにある学校づくりの推進

指標☞児童生徒質問紙「学校に行くのは楽しい」の項目において肯定的な回答をした児童生徒の割合
小：９０％　中：８５％を超える

「コミュニティ・スクール（学校運営協議会制度）」の充実に努めます

【学校運営協議会を機能させるための3観点】
- ○「地域とともにある学校づくり」「学校とともにある地域づくり」をめざす
- ○「熟議」「協働」「マネジメント」をもとにした実践を行う
- ○委員全員の「当事者」意識を大切にした学校運営への参画を行う

筑前町CS研修会

研修や協議を実施し、町や学校の課題を共有し、解決に向けた方策を検討する。

成功体験や他者評価による自尊感情の醸成

学校運営協議会

課題解決に向け熟議し、マネジメントによる協働実践を図る。

地　域

地域の方の協力による全校餅つき大会の実施

学　校

学習サポーターとの連携による補充学習の実施

家　庭

基本的生活習慣の確立と賞賛と励ましによる支援

※「地域・学校・家庭」の取組は一例

筑前町CS報告会

各校が取り組んだ1年間の実践を報告し合い、次年度のＣＳ充実につなげる。

「児童生徒が主体となる取組」「保護者等と連携した取組」を推進します

両中学校の生徒会が中心なってスマートフォン等の適切な取扱いについての取組を作成しました。
作成にあたっては、保護者の声（アンケート結果）が活かされています。

小中学校が連携した「家庭学習強化週間」を設定し、家庭学習の習慣化に取り組みます。

2　確かな学力を育み、個性や能力を伸ばす学校教育の充実

指標☞全国学力・学習状況調査の学力調査の各教科の標準化得点が、過去3年間の最高値を上回る

『筑前町学力向上推進プランＲ６』を推進します

筑前町学力向上推進プランR6

子どもたちの未来を拓く確かな学力の育成

〇知識及び技能　〇思考力、判断力、表現力等　〇学びに向かう力、人間性等

家庭・関係機関との連携

家庭学習の習慣化
- AIドリルの効果的活用の推進
- 家庭学習強化週間の協働
- 基本的な生活習慣の定着

放課後学習の充実
- 小学校・中学校アフタースクールを通した連携

学校の学力向上の取組

授　業　づ　く　り

誰一人取り残さない授業づくりの推進

〇「自ら学び取る授業」へ転換した授業づくり
- 問いや振り返りを重視した学習過程
- 学習内容や方法を自己選択できる学習過程

〇ICTの効果的活用が位置付いた授業づくり
- ねらいに応じて、個別最適な学びや協働的な学びを支える意図的・計画的な活用

〇自分の考えを書く活動を設定した授業づくり
- 相手や目的を明確にした書く活動の設定

〇算数・数学科の系統性を意識した授業づくり
- 学力調査問題や高校入試問題を取り入れた練習問題の工夫

教員の意識・指導力の向上

校長のマネジメント強化
- 学力向上に向けた取組に対するデータを基にした検証と改善

学校間交流研修（グローイングアップ研修）の充実
- 学年・教科の指導の目標と内容を明確にした協議の充実

校内研修の充実
- 授業チェックリストの活用
- 抽出児童生徒（CD層）の見取りを意識した研修の実施

日常的なOJTの推進
- 一部教科担任制（専科・交換授業）を通した人材育成

個に応じた指導の充実
- CD層児童生徒把握と支援の徹底
- CD層への補充学習と評価の充実
- AIドリルの計画的な活用の推進

学　力　の　基　盤　づ　く　り

規範意識の育成
- 協働や困難克服の体験を仕組んだ児童会・生徒会活動の充実

自尊感情の醸成
- 「英単語大作戦」「英検受験」等計画的・組織的な取組
- 児童生徒が目標をもって活動するコミュニティ・スクールの充実

各種調査結果の活用
- 町の調査結果分析と情報提供
- 関係施策の評価と改善策の提示
- 学力向上推進協議会の開催

研修会の充実による人材育成
- 経験年数、教育課題に応じた町独自の教職員研修会の実施
- 県外視察の実施と成果の還元

教育委員会の支援

マネジメントの強化
- 学力向上担当PT会議の充実

放課後学習の充実
- 放課後アフタースクールの充実
- 講師陣との生徒の学習状況の共有

英語力向上事業の実施
- ALT５名配置
- English Workshopの実施
- 英検受験の補助（中学生）
- 英語スピーチコンテスト開催
- 外国語担当者研修の実施

ICT活用支援
- ICT活用教育アドバイザーによる支援
- ICT活用担当PT会議の実施
- ICT支援員配置

令和5年度 各種学力調査等に基づく課題

規範意識の醸成
「人が困っているとき、進んで助けていますか。」
- 小R5全国差+1.4→R6全国差+2.0
- 中R5全国差-3.2→R6全国差±0

自尊感情の醸成
「自分には、よいところがあると思いますか。」
- 小R5全国差-2.7→R6全国差±0
- 中R5全国差+4.1→R6全国差+4.5

家庭学習の定着
「家で自分で計画を立てて勉強をしていますか。」
- 小R5全国差-9.6→R6全国差±0
- 中R4全国差-1.9→R6全国差±0

個に応じた指導の充実
四分位層（CD層）の子どもの割合が多い。
- 小国R5全国差 -2.5→R6全国差-2.8
- 中国R5全国差 +12.6→R6全国差±0
- 小算R5全国差 -2.1→R6全国差-2.4
- 中数R5全国差 +9.6→R6全国差±0

PC・タブレット等のICT機器の活用
「これまで受けた授業で、PC・タブレットなどのICT機器を、どの程度使用しましたか。」
- 小R5全国差 -23.9→R6全国差±0
- 中R5全国差 -15.3→R6全国差±0

学びを調整する力の育成
「課題の解決に向けて、自分で考え自分から取り組んでいましたか。」
- 小R5全国差+0.1→R6全国差+0.5
- 中R5全国差-4.9→R6全国差±0

学習意欲の向上
「勉強は好きですか。（国、算・数）」
- 小国R5全国差 -5.3→R6全国差±0
- 中国R5全国差-11.2→R6全国差±0
- 小算R5全国差 -2.1→R6全国差±0
- 中数R5全国差 +0.8→R6全国差+1.0

算数・数学科の学力向上（CD層）
- 小6算R5全国差 -2.1→R6全国差-2.4
- 中3数R5全国差 +9.6→R6全国差±0
- 小5算R5県差 +12.1→R6県差±0
- 中1数R5県差 +1.4→R6県差±0
- 中2数R5県差 +8.9→R6県差±0

「放課後学習」「英語教育」の充実に努めます

アフタースクール（放課後学習）の実施

中学生

高度な専門性、指導力及び豊富な経験を有する外部講師による放課後学習を、毎週２回、２教科（英語・数学）で実施します。
英検対策や進路指導保護者会も実施します。

小学生

ボランティアが中心となり、週2回程度実施します。（学校により実施方法等が異なります）

筑前町「英語教育」グランドデザイン

児童生徒の英語によるコミュニケーション能力の育成や向上に向けて、日常の授業の充実を図るとともに、身に付けた英語力を試したり、新たな課題を設定したりすることができる体験の場を保障し、英語教育の充実を図る。

「英検」チャレンジ

過去問題や英検対策アプリを活用した勉強会の実施や家庭学習

英語検定受験費用補助

全中学生に
英語検定試験の
受験費用を全額補助

「英単語」大作戦

習得する単語一覧を配布し、家庭学習等の工夫、コンクールの実施

English Workshop

Welcome to Chikuzen Town

留学生を招待し、校内で英語による交流活動を実施
- ☛小学校６年生
- ☛中学校１･２･３年生

Let's go to 北九州英語村

体験型施設英語村を訪問し、英語による体験活動を実施
- ☛中学校１年生希望者

授業の充実

ALTの配置

５名のALTを各学校に配置

外国語指導力向上研修

中学校の全外国語教員を対象に月1回実施

英語スピーチコンテスト

福岡県
英語スピーチコンテスト

北筑後
英語スピーチコンテスト

英語によるコミュニケーション能力を発揮し自分の考えを発表する

筑前町
英語スピーチコンテスト
〇小学生の部　〇中学生の部
令和6年10月12日（土）

各学校（学級･学年･全校）
英語スピーチコンテスト

北九州英語村

English Workshop

英語スピーチコンテスト

3　心づくり・体づくりの推進

指標☞児童生徒質問紙「将来の夢や目標を持っていますか」の項目において肯定的な回答をした児童生徒の割合
小：全国平均以上　中：71.6%以上か全国平均以上
指標☞全国体力・運動能力、運動習慣等調査における体力合計点が、全区分（小中、男女別）で全国平均以上

キャリア教育で、「夢や志」を育み、自尊感情を高めます

- 「夢や志を育む筑前っ子育成プラン」を踏まえ９年間を見通したキャリア教育に取り組み、学ぶことや働くこと、生きることの尊さを実感させ、学ぶ意欲を向上させます。
- キャリア・パスポート（小学校から高等学校までのキャリア教育に関わる活動を児童生徒が記録し蓄積する教材）を活用し、キャリア教育の充実を図ります。

１０歳を祝う会（表現活動）

中学生　立志式（立志生誓いの言葉）

中学生　職場体験

中学生　接遇マナー講座

食育の推進、体力・運動能力の向上に取り組みます

- 児童生徒が健全な食生活を実践し、健康で豊かな人間性を育んでいけるよう、学校教育活動全体を通じて、総合的に食育を推進します。

➢ 教科等における食に関する指導を充実します。

- 家庭や地域と連携し、体験活動を取り入れた授業を工夫します。
- 栄養教諭、養護教諭の専門性を生かした授業を実施します。

➢ 学校給食の充実を図ります。

- 全校のランチルームに食育コーナーなどの環境を充実します。
- 毎月初めの「和食の日」や19日の「食育の日」をはじめ郷土食や行事食の充実を図ります。
- 第３次筑前町食育推進計画を踏まえ、食育の充実に取り組みます。
- 「筑前町学校給食における食物アレルギー対応方針」に基づく食物アレルギーへの適切な対応を行います。

郷土料理「蒸し雑煮」の献立

- 日常的に運動を楽しみ、自ら体を鍛える児童生徒を育てるために、体育科学習、体育的行事等の取組を充実します。

➢ 体育科学習、体育的行事等の指導を充実します。

- 体育科における運動量の確保を前提とした授業づくりを行います。
- 自己やチームの目標に向かって粘り強くチャレンジする授業、達成感や満足感を育むような体育的行事を行います。

➢ 教育活動全体を通して体力向上に取り組みます。

- 「１校１取組」「体力アップシートの活用」等を通して、体力向上に取り組みます。

1校1取組
「なわとびチャレンジ」

スポコン広場
「みんなでドッジボールラリー」

4　いじめ・不登校等に対する生徒指導体制の確立

指標☞１０００人当たりのいじめ認知件数：全国件数以上
不登校児童生徒の復帰率：全国平均以上

いじめの未然防止・早期発見・早期対応に取り組みます

「福岡県いじめ防止基本方針、筑前町いじめ防止基本方針、各学校いじめ防止基本方針」に基づき、県教育委員会・町教育委員会・学校が連携し、組織的な取組を図ります。

未然防止

命の教育の推進
- 道徳教育の充実
- 命の授業の充実

人間関係・集団づくりの推進
- いじめを許さない心と、協力して取り組もうとする集団としての問題解決能力の育成

体験活動の推進
- 社会性や共に生きる力の育成

基本的生活習慣の定着・規範意識の育成
- 情報モラル教育の推進
- 行動や規範を「理解させる」「納得させる」「実践させる」

早期発見

いじめの定義の適切な理解
- 教職員や児童生徒のいじめに対する適切な理解を促進

報告体制の整備
- 情報共有
- 校内いじめ対策委員会等での事実確認、判断、対応方針の決定等

ＳＯＳキャッチ体制の充実
- 相談ポストの活用
- チェックリスト等の活用
- アンケート等の実施（月１回以上）
- 教育相談の実施（学期に１回以上）

早期対応

組織的な対応
- 校長のリーダーシップのもと、校内いじめ対策委員会を中核として組織的に対応

いじめられている児童生徒への支援といじめている児童生徒への指導の徹底
- 保護者との連携
- 関係機関との連携

教育委員会による支援
- いじめ問題対策委員の活用
- ＳＣ、ＳＳＷ等の活用
- スクールロイヤーの活用

不登校の予防・早期対応に取り組みます

教室には入れないが学習したい児童生徒への学習支援や所属学級への復帰支援を行います。

筑前町拠点校方式校内教育支援センター

教室に入れない子供の学びの保障と居場所づくり

三輪中学校
校内教育支援センター（旧PC室）
マネージャー

夜須中学校
校内教育支援センター（旧PC室）
マネージャー

三輪小学校
東小田小学校
中牟田小学校
三並小学校

マネージャーの役割

◆支援体制のマネジメント
- 児童生徒への学習支援
- 指導計画の作成と学習支援の記録
- 校内いじめ不登校対策委員会での情報共有
- 学校、教育委員会、町教育支援センターとの連携

教職員の役割

- 教員の授業時数に応じて教科の指導
- 出欠・遅刻・早退等はtetoru(連絡アプリ)で確認
- 学習プリント等の確実な配布（担任・教科担任→本人またはマネージャー）
- 学級担任と入室生徒とのコミュニケーション
- 生徒の状況を考慮した所属学級への復帰支援

入室の手順

1　**協議**
　担任が本人、保護者の意向を確認した上で、校内いじめ不登校対策委員会で協議

2　**申込**
　学習の方法や生活のルール等を確認後、保護者が申込書に必要内容を記入し、校長に提出

3　**通知**
　校長が担任を通じて保護者に入室許可を通知

4　**指導計画作成**
　個別の指導計画、時間割を作成

マネージャーの基本スケジュール

曜日	月	火	水	木	金
午前	中学校	中学校	中学校	中学校	中学校
午後	必要に応じて小学校を支援				

時間割例

校時	Aさん	Bさん
1	国語【遠隔】	総合【学級】
2	数学【AIドリル】	社会【遠隔】
3	美術【美術科教員の直接指導】	

教育支援センター推進チーム

町教育支援センター長・マネージャー（指導主事）
校内教育支援センター支援員２名（指導主事）
教育課長、指導主事、SSW、OT、支援ボランティア

- 支援状況の確認や具体的な支援策について協議
- 協議結果に基づくよりよい支援の充実

筑前町教育支援センター

学習の内容と方法

- 各自の状況に応じて学級担任・マネージャーと相談し、時間割を作成
- 学習の形態は、①遠隔授業②AIドリル③学級に参加④教科担当の授業
- ICTの有効活用（遠隔、動画視聴、AIドリル等）
- 校内の時制に合わせて学習

5　特別支援教育の充実

指標☞特別支援学級の個別の指導計画の見直し3回以上：１００％

関係機関と連携し、学校が組織的に児童生徒を支援します

- 学校が、保護者や関係機関と一体となって、組織的、計画的、効果的に児童生徒一人一人の自立と社会参加を支援します。
- 一人一人の教育的ニーズ等に応じた合理的配慮を提供します。
- 作業療法士が各学校を訪問し、学校支援、保護者への就学・発達相談を実施します。

保護者 ⇔ 連　携 ⇔ 学　校 ⇔ 連　携 ⇔ 関係機関

こども未来センター／医療機関／保健・福祉部局／特別支援学校

筑前町教育委員会

- 作業療法士（町費）の配置
  - 学校支援及び就学・発達相談の実施
- 看護師（町費）の配置
  - 医療的ケアの必要な児童生徒への支援
- 通級指導教室（三輪小学校）の充実
  - 言語やコミュニケーションに関する課題の改善（２教室開設）
- 特別支援教育支援員（町費）の配置（12名）
  - 日常生活や学習、行事等の支援
  - 教室間の移動等の支援や健康・安全確保
  - 周囲の児童生徒への理解促進
- 学習支援員（町費）の配置（２名）
- 筑前町就学支援委員会の設置
  - 教育上特別な配慮を要する児童生徒に対し適切な教育支援
- 特別支援教育コーディネーターPT会議の開催
  - 各学校における児童生徒への支援に対する年間を通した計画的な見取り

計　画

- 児童生徒の実態把握
- 教育課程編成の基本方針
- 個別の教育支援計画【合理的配慮の明記】
- 個別の指導計画【合理的配慮の明記】
- 個別の基本時間割
- 校内の支援体制づくり

校内委員会・ケース会議

- 実態把握、支援の役割分担
- 教育課程、職員研修の検討
- 個別の支援、指導計画検討
- 作業療法士、支援員との連携
- 実施状況把握と対応策検討

コーディネーター

- 校内委員会・研修会の企画運営
- 関係機関との連絡調整
- 保護者の相談窓口

評価・改善

- 支援計画、指導計画に基づく評価
- 教育課程の評価
- 成果、課題、改善策の共通理解
- 合理的配慮の柔軟な見直し

実　施

- 情報の焦点化
- 明確な説明・手順
- 視覚的支援
- 自尊心を育む場の設定

ふくおか 就学サポートノート

福岡県・福岡県教育委員会

特別な支援を必要とするお子さんに一貫した継続性のある支援を行うために、成長の記録をまとめ、引き継いでいくノートの活用を図ります。

6　人権教育の推進

指標☞福岡県部落差別解消の推進に関する条例について、子どもや保護者に内容・背景を説明できる教職員の割合：１００％以上

教職員が一体となり、学校の教育活動全体を通じた人権教育を推進します

- 人権が尊重される「学校づくり」に取り組みます。
- 「個別の人権課題に対する取組」や「いのちの授業」の充実を図ります。
- 研修等を通して、教職員の人権認識・人権感覚の向上に努めます。

人権尊重の視点に立った学校づくり

人権が尊重される「学習活動」づくり
一人一人が大切にされる授業、互いのよさや可能性を発揮できる取組

生徒指導
- **自己存在感**をもたせること、**共感的人間関係**を育成すること、**自己決定**の場を設定することを大切にします。
- 豊かな人間関係の醸成に努めます。
- 規範意識の醸成に努めます。

教科等指導
- **「協力し合う学習」**を重視します。
- 児童生徒が**「主体的に参加できる学習」**を重視します。
- 具体的な活動や体験を通して、**「生活上必要な習慣や技能を身につける学習」**を重視します。
- 人権教育教材「かがやき」「あおぞら」「あおぞら２」を効果的に活用します。

人権が尊重される「人間関係」づくり
互いのよさや可能性を認めあえる仲間

人権が尊重される「環境」づくり
安心して過ごせる学校・教室

学級経営等
- 行動等の背景や原因を正しくとらえ、児童生徒の内面や課題を十分に把握します。
- 他の人の立場に立って考える想像力や共感的に理解する力を育て、誰もが尊重される学級をつくります。
- 安全で清楚な落ち着きのある環境づくり、望ましい言語環境づくりに努めます。

7　教職員の資質向上と人材育成

指標☞筑前町教職員研修を受講した対象者の満足度調査：A以上60%（自己評価）

筑前町教職員研修を充実させます

教職員の経験年数や教育課題に応じた研修を行い、実践的指導力を磨き、児童生徒の確かな学力、豊かな心、健やかな体を育みます。

経験年数に応じた研修

- 筑前町１年目研修（教職経験１年目）
  - 学習指導並びに学級経営、生徒指導等の教員としての資質向上を図ります。
- グローイング・アップ研修（教職経験４～６年目教員研修）
  - 学習指導等に関する研修を行い、教員としての専門性の向上を図ります。
- 学校間交流研修（各学校からの希望者）
  - グローイング・アップ研修に他校の教職員が参加し、相互に授業力の向上を図ります。
- 筑前町主題研修（教職経験７～２１年目教員研修）
  - 学習指導等に関する今日的課題の解決の方途を究明し、町内学校教育の充実を図ります。
- 派遣研修
  - 県外派遣研修（遠方）
  - 県内または隣接県外派遣研修
    - 県内外の教育実践に学ぶことで、教育的視野を広げ、本町の学校教育の課題解決を図ります。

教育課題に応じた研修

- 学校運営研修
  - 組織的な学校運営の充実を図ります。
  - 学校経営研修
  - 校務運営研修
- 学力向上推進研修
  - 学力向上のためのマネジメント力の向上を図ります。
- 特別支援教育推進研修
  - 特別支援教育に対する正しい理解と認識を深め、専門的指導力の向上を図ります。
- ICT教育推進研修
  - ICT教育推進のための資質能力の向上を図ります。
- いじめ・不登校等対応研修
  - いじめや不登校等の問題行動の対応に係る資質能力の向上を図ります。

8　教育環境の整備

指標☞老朽化が進んでいる校舎外壁の改修率：５/７棟

安心、安全と魅力ある教育環境の整備に努めます

教育の情報化に対応したICT環境の整備や快適な学習環境の整備、安全・防災対策の推進の実現に努めます。

施設の管理及び整備

- ＩＣＴ機器の整備
  - タブレット、電子黒板、校務支援システム等の計画的な整備を図ります。
- 学校施設の管理・整備
  - 学校施設の安全管理と計画的な整備を図ります。

教職員の服務規律

- 不祥事防止対策委員会の機能化
- 教職員のメンタルヘルスの保持対策の実施
- 筑前町教職員働き方改革指針に基づく取組の実施

安全・防災対策

- 筑前町学校安全対策委員会の実施
- スクールガードリーダーによる地域巡回指導の実施
- 通学路危険個所巡回調査の実施

筑前町教育委員会　教　育　課
〒838-0816 福岡県朝倉郡筑前町新町450番地
TEL.0946-22-3385　FAX. 0946-22-2879　E-mail：kyouiku@town.chikuzen.fukuoka.jp